

内閣総理大臣賞 <small>「事業所・地方公共団体等」分野</small>	受賞者名 花王株式会社
	取組の実践場所 日本国内
	受賞テーマ 製品濃縮化とつめかえ・つけかえ化による包装容器におけるプラスチックの継続的削減

1. 取り組みの内容

受賞者は、衣料用洗剤やシャンプー、全身洗浄剤など、プラスチック包装容器を使用した生活者に身近な製品を提供している。家庭ごみの55%程度（容積比）、23%程度（質量比）を占める包装容器の使用量を削減するために、特にプラスチック包装容器を対象に、製品の濃縮化、つめかえ・つけかえ製品の提供を中心とした3R活動を継続的に行っている。

2. 取り組みのポイント

消費者がわかりやすく使いやすい「人にやさしいモノづくり」を達成するために“花王ユニバーサルデザイン指針”を、環境負荷を削減した「地球にやさしいモノづくり」を目指し“私たちのプラスチック包装容器宣言”をそれぞれ制定し、技術開発を進め、包装容器の3R活動を継続的に推進している。

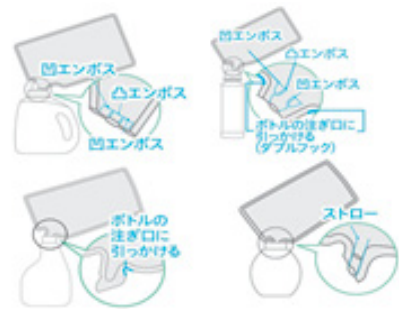
同社は、プラスチックを始めとする各種素材からなる包装容器を対象に研究開発を行う包装技術研究所を設けており、同研究所において上記技術開発を推進している。

3. 具体的取り組み

■製品の濃縮化：製品を濃縮するすなわち1回当りの使用量を削減することで、包装容器使用量を削減する活動である。具体的には、衣料用液体洗剤、衣料用柔軟剤や食器用洗剤などで行っている。例えば、2019年4月に発売した衣料用濃縮液体洗剤「アタックZERO」は、濃縮化によりプラスチック使用量は40%削減した。



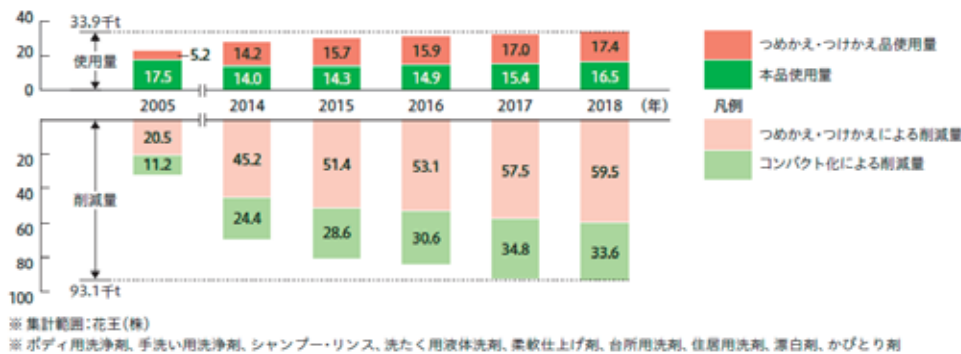
■つめかえ・つけかえ製品：フィルム状のつめかえ製品は本品製品（ポンプボトル等）に比べプラスチック使用量を80%程度が少なくできることから、つめかえ・つけかえ製品の提供を行っている。その際、製品の性状等（粘度、内容量等）や本品ボトルの形状に応じ、個別の注ぎ口設計とすることで、お客さまのつめかえ作業を容易となるようにしている。その結果、つめかえ製品への転換率は80%以上（同社実績、本数ベース）で推移しており、つめかえ・つけかえ製品によるプラスチックを削減するという行為は、日本において一般化している。



■ラクラク eco パックとスマートホルダー：つめかえ作業をより簡便に、更にはつめかえ作業を行わないことをめざし、ラクラク eco パックとスマートホルダー（専用ホルダー）とを併用することを提案。本技術により、脱プラスチックボトルが可能となることに加え、フィルム容器内の残液量を1/3に削減するという他の環境効果も得られている。



■プラスチック削減量：この様な取り組みの結果、プラスチック使用量を93.1千トン削減した（2018年実績）。



4. その他にもプラスチック削減に向けた様々な取り組み

同社は、製品濃縮化やつめかえ・つけかえ化以外にも様々な取り組みを行っている。

■環境ラベルによる啓発活動：同社が独自に定めた基準を満たす環境負荷の少ない製品に“いっしょにe c o”マークを表示し、消費者に環境への配慮を呼び掛けている。具体的には、認定要件の一つに「廃棄物削減」「リサイクル原材料の使用」を設けている（これらの認定基準は、以下のとおり）。“いっしょにe c o”マークの売上比率は、29%に達している。

「廃棄物削減」

- ・基準製品よりも、廃棄物量を10%以上削減できる場合
- ・本体容器よりも、容器の重量を50%以上削減できる
つめかえ・つけかえ品

「リサイクル原材料の使用」

- ・リサイクル原材料を容器包装で10%以上使用する場合
- ・リサイクル原材料を内容物で10%以上使用する場合



■資源循環に向けた取り組み：地域の住民やパートナー企業と協働し、洗剤やシャンプーなどの使用済みのつめかえパックを回収し、再生樹脂に加工して提供する活動「リサイクリエーション®」を推進している。現在は、5つの市町において地方公共団体と協働し、地域に設置した回収ボックスで集めたつめかえパックをリサイクルして再生樹脂にして地域で役立てている。一例として、神奈川県鎌倉市ではこのブロックで作成したベンチが江ノ島電鉄（江ノ電）の江ノ島駅休憩室に設置され、家庭から出されるつめかえパックがリサイクルによって、新たな用途として使えることを実物で分かりやすい形にして地域の役に立てている。



同社は、使用するプラスチック資源の削減だけでなく、リサイクルプラスチックやバイオマスプラスチックの利用を拡大すべく技術開発を行うことで持続可能な資源調達を目指している。また、100%リサイクル可能な単一素材フィルムからつくられたフィルム容器を開発して、使用済の製品容器をリサイクルしやすくするための研究もしている。

他にも、環境省の中央環境審議会、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会や日本石鹼洗剤工業会などの業界団体に3R事例を提供するなど、日本の3Rのレベル向上に寄与している。